



看護 とちぎ



CONTENTS

- 2 会長あいさつ
- 3 通常総会提出議題
- 4 平成27年度 公益社団法人栃木県看護協会 職能集会プログラム
平成27年度 公益社団法人栃木県看護協会 通常総会プログラム
- 5 平成27年度 公益社団法人栃木県看護協会 理事・監事・委員候補者一覧
- 6 平成28年度 公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員並びに予備代議員
- 7 「四師会による災害時の医療救護活動に関する協定書」締結
- 8 看護職のワーク・ライフ・バランス(WLB)推進事業～3年間の取り組み～
- 10 公益社団法人栃木県看護協会の訪問看護ステーションの組織及び所在地が一部変更になりました。
- 11 いつでもどこでもからだを動かす+10
- 12 お知らせ

会員数 10,032人 (H27.4.20現在)

保健師	510人 (19人)
助産師	285人
看護師	8,464人 (659人)
准看護師	773人 (63人)

男子は()で再掲

平成27年度栃木県看護協会通常総会の開催にあたって

公益社団法人栃木県看護協会 会長 河野 順子



平成27年度通常総会の開催にあたりご挨拶を申し上げます。

日頃より会員の皆様にはご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。お蔭を持ちまして、平成26年度当協会の事業運営は、滞りなく遂行できましたこと、改めて会員の皆様、また関係機関の皆様に御礼申し上げます。

近年、国内外で予想外の自然災害が頻発している状況にあります。広島のと砂崩れや御岳山噴火など日常の平安な様相を一変する災害に見舞われました。

今年の4月8日は桜の満開であり、あちこちで入学式がありましたが一日中栃木県は桜の花に雪が降っていました。このようなことがこれからも起こるかもしれないと思いますと、危機意識をしっかりと持たねばならないと感じているこの頃でございます。折しも平成26年度は、県医師会・県歯科医師会・県薬剤師会に加えて頂き、4師会が誕生いたしました。大変ありがたく感じています。平成27年3月には4師会による災害時の医療救護活動に関する協定を締結いたしました。栃木県災害時に医療救護班を編成し円滑な

支援を図るその一員に災害支援ナースが加わり、活動することが具現化されました。これからは、更なるトレーニングを重ねて、お役にたちたいと考えております。

さて、平成27年度重点事業では、日本は世界に類を見ないスピードで高齢社会、人口減少が進展しています。医療介護総合確保推進法の成立で地域包括ケアシステムの構築が提唱され、在宅医療における看護への期待は大きくその責任は重いものがあります。それらの意味を含めまして、以下の項目を挙げました。

1. 看護の安全性・専門性の向上と実践能力の強化
2. 地域包括ケアシステムの構築と推進への積極的参加
3. 働き続けられる労働環境改善の推進
4. 看護を普及啓発し、県民の健康づくりへの支援

会員の皆様には引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。

通常総会提出議題

公益社団法人日本看護協会の平成27年度通常総会は、平成27年6月9日(火)10日(水)に神戸国際展示場2号館で開催され、栃木県看護協会通常総会は、6月20日(土)とちぎ健康の森講堂において開催いたします。会員の皆さま一人ひとりに、提出議題を十分にご検討いただけますよう、その内容についてお知らせいたします。

報告事項

- 報告事項1 平成26年度活動報告
- 報告事項2 平成26年度決算報告及び監査報告
- 報告事項3 平成27年度重点事業及び事業計画

〔重点事業〕

I 公益目的事業

1. 看護の安全性・専門性の向上と実践能力の強化

少子超高齢社会の対応、医療・介護提供体制の改革の動きなどから、看護職に期待される役割・能力はますます大きくなっています。いかなる場所で働く看護職であっても、社会からの要請に応えるため、質の高い看護を提供できるよう研修の充実を図ります。

- (1) 看護職全体の実践能力の強化のため、研修内容の充実を図ります。
- (2) 訪問看護師養成研修、訪問看護師新人研修、訪問看護ステーション管理者研修等を実施し在宅医療を担う人材の育成を図ります。
- (3) 看護職Ⅱを対象とした研修会を充実し、福祉施設に働く看護職の資質向上に努めます。
- (4) 地区支部と連携した研修で、実践能力の向上を図ります。
- (5) 助産実践能力の強化を図ります。

2. 地域包括ケアシステムの構築と推進への積極的参加

医療提供のあり方が、「病院・施設から地域・在宅へ」大きくシフトする中、在宅医療を進める上で看護職の役割は非常に重要です。訪問看護の人材育成と確保、利用者の状態に応じた多職種・関係機関との調整・連携を図りながら在宅療養者とその家族のより良い支援のため、看護者間のネットワークづくりを強化します。

- (1) 地域医療のキーパーソンとなるため、会員一人ひとりがそれぞれの場所での看護の役割を認識し実践できるよう啓発します。
- (2) 退院支援・退院調整・地域連携のため、地区支部単位で看護職のネットワークづくりを推進します。
- (3) 在宅医療のニーズの増大に伴い、訪問看護ステーションの機能充実と経営の安定化を図ります。

3. 働き続けられる労働環境改善の推進

看護職の労働環境改善に向けた取り組みがより積極的にできるよう働きかけ、看護職員の確保定着のため、離職の防止と潜在看護職員の再就業の支援等きめ細かな対応を推進します。

- (1) 看護職のワーク・ライフ・バランス (WLB) ワークショップ事業の対象施設を拡大していきます。
- (2) ナースバンク事業で、ハローワーク等と連携し潜在看護職員の就業を促します。
- (3) 就業と定着を推進する事業 (NCCS、届け出制度) の実施に取り組みます。

4. 看護を普及啓発し、県民の健康づくりの支援

各種イベントや広報活動を通して、看護の心・魅力を普及します。

- (1) 早い時期から看護職への理解と関心を深めてもらうため、看護体験や小・中・高等学校への出前講座を実施し、普及啓発活動を行います。
- (2) 地区支部活動を通じて県民の健康づくりを支援します。

II その他の事業

1. 公益社団法人事業の展開と組織強化

自治体の保健医療対策の推進に協力し、公益社団法人としての役割を果たしていきます。また、会員の拡大を図るため、入会者の少ない施設や福祉施設に、継続的に働きかけをしていきます。

〔主な事業〕

1. 第29回栃木県看護大会及び第25回「看護の日」記念行事

期 日 5月9日(土)

場 所 栃木県総合文化センター メインホール

(1) 記念講演

テーマ 「生きることの意味～あなたの役割は何ですか～」

講 師 大住 力 氏

(2) 「ふれあい看護体験」発表

高校生2名、看護学生1名

2. 第19回栃木看護学会学術集会

期 日 11月5日(木)

場 所 栃木県総合文化センター

テ ー マ 「学生も現場も生き生きと」

－後輩育成の視点から臨地実習を考える－

集会長講演

集会長 山口 久美子(獨協医科大学看護学部教授)

報告事項4 平成27年度収支予算

議決事項

提出議題

第一号議案 平成27年度改選役員及び推薦委員の選任(案)

第二号議案 平成28年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出(案)



平成27年度 公益社団法人栃木県看護協会 職能集会プログラム

開催日 平成27年6月20日(土)

種別	保健師	助産師	看護師
会場	とちぎ健康の森 1階 大会議室	とちぎ健康の森 2階 小会議室	とちぎ健康の森 2階 講堂
プログラム	8:40 受付	8:40 受付	8:40 受付
	9:00 オリエンテーション 開会 委員長あいさつ	9:00 オリエンテーション 開会 委員長あいさつ	9:10 オリエンテーション 開会 委員長あいさつ
	9:10 日本看護協会保健師職能集会報告	9:10 日本看護協会助産師職能集会報告	9:20 日本看護協会看護師職能委員会報告
	9:30 栃木県看護協会保健師職能委員会 活動報告	9:30 栃木県看護協会助産師職能委員会 平成26年度活動報告 1. 研修会報告 2. シンポジウム「助産師外来 および院内助産の現状と課題 について」 3. その他 1) 「いいお産の日」イベント 参加 ねりんピック ヒューマンフェスタ 2) 助産師だより ミッドワイフトーク 3) こうのとりにネットワーク修正	9:30 栃木県看護協会看護師職能委員会 報告 1. 研修会:地区支部との交流会 「看護補助者活用の取り組み」 2. 研修会:介護福祉施設・療養 型病院等に勤務する看護師 との交流会 「看護職の専門性を発揮で きる摂食・嚥下ケアの実際」
	9:50 休憩		9:50 休憩
10:00 シンポジウム 「すこやかな妊娠・出産のために保健師と助産師ができること」 講師(シンポジスト) ・行政の立場から 栃木県保健福祉部こども政策課 副主幹 川村和枝 ・地域保健に従事する保健師の立場から 真岡市健康福祉部健康増進課 副主幹 伊藤洋子 ・医療機関で働く助産師の立場から 芳賀赤十字病院産婦人科病棟 看護師長 田中弘子		10:00 講演 「看護師に必要な笑いの力」 講師 名古屋市立大学 看護学部慢性看護学 准教授 池田由紀	
11:30 質疑応答、アンケート記入	11:30 質疑応答、アンケート記入	11:30 質疑応答、アンケート記入	
11:45 閉会	11:45 閉会	11:40 閉会	

平成27年度 公益社団法人栃木県看護協会 通常総会プログラム

日時 平成27年6月20日(土)

場所 とちぎ健康の森 2階 講堂

- 12:00 開場
オリエンテーション
- 13:00 開会
物故会員への黙祷
会長挨拶
来賓祝辞
来賓紹介(祝電披露)
(休憩)
- 13:30 議長団選出
議事録署名人選出
- 13:40 議事
報告事項
報告事項1 平成26年度活動報告
(理事会・事業・委員会・地区支部活動・訪問看護ステーション及び
居宅介護支援事業・日本看護協会通常総
会代議員)
- 報告事項2 平成26年度決算報告及び監査報告
- 報告事項3 平成27年度重点事業及び事業計画
- 報告事項4 平成27年度収支予算
- 提出議題
第一号議案 平成27年度改選役員及び推薦
委員の選任(案)
- 第二号議案 平成28年度日本看護協会通常
総会代議員及び予備代議員の
選出(案)
- 15:40 新役員を紹介・旧役員への謝辞
協会歌斉唱
- 16:00 閉会

平成27年度 公益社団法人栃木県看護協会 理事・監事・委員候補者一覧

公益社団法人栃木県看護協会定款第5章、細則第8章第13条に基づき、理事10名、監事1名、保健師職能委員5名、助産師職能委員4名、看護師職能委員7名、推薦委員7名、計34名の立候補者を推薦並びに候補の受付を行いました。

なお、役員任期に関して、平成26年9月30日開催第4回理事会において定款細則の一部改正が決議され、第8条2項は「同一役職に引き続き就任する場合は、6年を超えて就任することはできない。ただし、理事会が6年を超えて就任することを認めた場合は、この限りでない。」となりました（傍線部分が追加された部分）。なお、この条文が適用される役職は「会長」であることも決議されました。

1. 役員 改選（11名）

	役職名	氏名	施設名	推薦	立候補
1	理事	河野 順子	公益社団法人栃木県看護協会	◎	
2	理事	塚本 由紀子	栃木市役所	◎	
3	理事	菊池 園江	公益社団法人栃木県看護協会	◎	
4	理事	馬込 公子	公益社団法人栃木県看護協会	◎	
5	理事	深津 静枝	県西健康福祉センター	◎	
6	理事	高橋 美知子	那須赤十字病院	◎	
7	理事	桜井 美恵子	栃木県県南高等看護専門学院	◎	
8	理事	細野 克子	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院	◎	
9	理事	谷田貝 理恵	とちぎメディカルセンター下都賀総合病院	◎	
10	理事	坂上 和江	真岡病院	◎	
11	監事	荒木 剛	荒木税務会計事務所	◎	

2. 推薦委員（7名）

	役職名	氏名	施設名	推薦	立候補
1	委員	猪熊 洋子	佐野厚生総合病院	◎	
2	委員	大竹 公子	獨協医科大学病院	◎	
3	委員	渡辺 芳江	自治医科大学附属病院	◎	
4	委員	大保寺 和子	小山市役所	◎	
5	委員	小林 睦美	済生会宇都宮病院	◎	
6	委員	櫛田 恵津子	国際医療福祉大学病院	◎	
7	委員	根本 徳子	栃木県立岡本台病院	◎	

3. 保健師・助産師・看護師職能委員（保5名・助4名・看7名）

	役職名	氏名	施設名	推薦	立候補
1	保健師職能委員	畠田 道恵	宇都宮市富屋地区市民センター	◎	
2	委員	根本 幸子	鹿沼市役所	◎	
3	委員	鈴木 悦子	県東健康福祉センター	◎	
4	委員	田沼 かおり	栃木県立衛生福祉大学校	◎	
5	委員	中山 晴美	県北健康福祉センター	◎	
1	助産師職能委員	小林 あゆみ	上都賀総合病院	◎	
2	委員	堀越 幸子	獨協医科大学病院	◎	
3	委員	星 宏枝	済生会宇都宮病院	◎	
4	委員	今泉 玲子	獨協医科大学看護学部	◎	
1	看護師職能委員	鈴木 朋美	栃木県立がんセンター	◎	
2	委員	白石 浩子	獨協医科大学病院	◎	
3	委員	清川 明美	宇都宮中央病院	◎	
4	委員	印南 裕子	国際医療福祉大学塩谷病院	◎	
5	委員	篠原 明子	芳賀赤十字病院	◎	
6	委員	野澤 英子	特別養護老人ホーム桜の華	◎	
7	委員	齋藤 美樹	老人保健施設かみつが	◎	

平成28年度 公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員並びに予備代議員

平成28年度公益社団法人日本看護協会通常総会代議員数について、定款・細則に基づき公益社団法人栃木県看護協会は「12名」の代議員並びに同数の予備代議員が決まり、公益社団法人日本看護協会長より通知がありました。

代議員（保 3 助 2 看 6 准 1）

	氏名	役職
1	朝野春美	副会長
2	塚本由紀子	副会長（候補）
3	菊池園江	専務理事
4	馬込公子	常任理事
5	深津静枝	保健師職能委員長（候補）
6	寒河江かよ子	助産師職能委員長
7	齋藤由利子	看護師職能委員長
8	坂上和江	准看護師代表
9	穂高律子	宇都宮地区代表
10	河原美智子	県東地区代表
11	白石浩子	栃木地区代表
12	松島久美子	安足地区代表

予備代議員（保 2 助 1 看 8 准 1）

	氏名	役職
1	田中京子	看護師代表
2	早乙女美智子	保健師代表
3	渡邊力ヨ子	栃木県看護協会
4	関根照代	栃木県看護協会
5	戸叶順子	保健師職能委員
6	堀越幸子	助産師職能委員
7	印南裕子	看護師職能委員
8	五十嵐宏通	准看護師代表
9	永山真弓	宇都宮地区代表
10	渡井恵	小山地区代表
11	井上文子	県北地区代表
12	境野博子	県西地区代表

「四師会による災害時の医療救護活動に関する協定書」締結

平成27年3月5日、宇都宮市内において、栃木県看護協会と栃木県医師会、栃木県歯科医師会、栃木県薬剤師会は、大地震や風水害等の災害発生時の医療救護活動に関する協定を締結した。

県内での災害発生時に連携して医療救護班を編成し、円滑な支援を行うことを目的としている。医療救護班は医師、歯科医師、薬剤師、看護師、事務職員で構成され、災害派遣医療チーム（以下「DMAT」という。）到着前の超急性期の段階やDMAT撤退後の慢性期の支援活動を行う。



（右から）栃木県看護協会 河野会長、栃木県歯科医師会 柴田会長、栃木県医師会 太田会長、栃木県薬剤師会 大澤会長

医療救護班の業務

DMAT到着前の超急性期医療の業務は次のとおり。なお、医療救護班は、DMATが救護所等に派遣された場合には、その指揮のもとで活動に従事する。

- (1) 被災者の症状判別
- (2) 傷病者に対する応急処置及び医療
- (3) 傷病者の収容医療機関への転送及び転送順位の決定
- (4) 被災者の死亡の確認（必要がある場合には死体の検案）

DMAT撤退後の慢性期医療業務は次のとおり。

- (1) 要援護者、要支援者への医療の提供及び健康管理、健康支援
- (2) 医薬品等の安定供給の確保
- (3) 救護所等における公衆衛生対策、感染症対策、日常診療の支援、精神衛生対策等こころのケア・支援

災害支援ナースに登録しませんか

栃木県看護協会には、現在約170名の災害支援ナースが登録しています。

阪神・淡路大震災や東日本大震災等の際には、日本看護協会からの要請を受け、災害支援ナースとして派遣されました。また、年に1度、栃木県医師会と連携し参加している栃木県と県内市町の合同防災訓練には、応急手当・搬送訓練に3名の災害支援ナースが参加しています。

災害支援ナースとは

被災地の医療施設や避難所など十分な看護を提供することが出来ない場合、他の地域からの看護専門職の応援（看護マンパワー）が必要となります。

この看護マンパワーを「災害支援ナース」といいます。

災害支援ナースに登録するには

- ① 保健師・助産師・看護師・准看護師の資格を有し、実務経験5年以上のもの
- ② 栃木県看護協会の一定の災害看護研修を受講したもの

災害支援ナース研修

- ① 災害医療と看護（基礎編）
平成27年度開催日 7月9日（木）・10日（金） 2日間
- ② 災害支援ナース養成育成・継続研修
平成27年度開催日 12月11日（金）または12月18日（金）

※ 災害支援ナースにご登録の皆さんへ

登録期限の確認をお願いします。

更新には、災害支援ナース養成育成・継続研修の受講が必須となります。





看護職のワーク・ライフ・



●平成24年度

上都賀総合病院



1. 事業に取り組んだ動機

看護職が働き続けられる環境構築は病院全体で取り組むべき課題であり、WLB推進事業への参加は病院全体で取り組む良い機会と考えました。

2. 主な取り組み内容

- ・WLB推進委員会を院内組織として立ち上げ、課長師長会議を通して周知した。
- ・WLBに関する理解と啓発・浸透を目的に、課長師長会議において活動報告及び職員への伝達を行った。さらに全職員にも浸透するように院内LANや院内職員対象のニュースに掲載した。また病院として取り組んでいるBSC活動の戦略テーマにWLB推進強化を取り入れ、各部署でアクションプランを立て実行した。
- ・WLB支援施策及び就業規則を周知させるため、「WLB推進、就業規則説明会」を2回実施し、その後は入職時定例の説明と看護管理者との討議を行なった。
- ・労働条件・処遇の改善として、休憩時間調査を全職員に1回、看護部対象に2回実施した。その結果を各部署で分析後、対策を立案し業務改善に取り組んだ。
- ・看護職員募集のためホームページの充実、新規に募集ポスターを作成し、訪問の募集活動時にポスター掲示を依頼した。
- ・キャリア開発、支援として、看護部教育委員会と共同して、院内一日留学システムを新たに導入した。

3. 取り組んだ結果(効果)や職員の意識変化

- ・WLB推進委員会活動により、客観的に現状を把握し具体的な対策に取り組めた。
- ・BSC戦略にWLB推進を取り入れたことで、全部署がWLBに取り組むことができた。看護部は有給取得増加を目標に、誕生日休暇を導入し、年間の有給60%を取得できた。BSC発表時にはWLB推進賞が授与された。
- ・職員募集活動により実習を受け入れていない学校から新たに入職者がいた。
- ・労働環境調査では、看護部の休憩時間の取得が少ないことが明らかになった。そこで夜勤時の休憩時間、仮眠時間取得困難な部署へ夜間リリーフ体制を構築した。
- ・看護師の一日院内留学では、約半数が参加し、「学ぶことができた」「新たな知識、スキルを得た」「自己の看護の実践の振り返りとなった」などの意見が多く、導入の目的は達成されており継続の意義がある。

4. 院長からひとこと

仕事の達成感、誰かの役に立っているという充実感、そして生活の中、家族の中、人生の中でのバランスの取れた仕事のボリュームは不可欠の要素です。すべての職員が誇りを持って病院にいたしましょう。

5. これから取り組まれる施設へメッセージ

WLB推進活動は、働き続けられる環境整備には必須です。全職員で取り組みましょう。



とちぎメディカルセンター とちの木病院



1. 事業に取り組んだ動機

地域医療再編計画による3病院統合に伴い、働きやすい職場環境を整え、看護職だけでなく様々な職種が一体となりチーム医療が推進され、生き活きと働き続けられる職場作りを目指し参加しました。

2. 主な取り組み内容

- ①WLB推進体制づくりと支援制度の周知 ②多様な勤務形態の導入・短時間正職員制度の利用促進・活用 ③夜勤負担の軽減 ④超過勤務時間の削減 ⑤有給休暇の取得促進・連続休暇・長期休暇制度の導入 ⑥看護ケアの充実 ⑦看護職員の確保定着 ⑧労働条件・処遇の改善 ⑨中堅ナースの負担軽減 ⑩キャリア支援

3. 取り組んだ結果(効果)や職員の意識変化

各部署(診療部・看護部・薬剤部・医療技術部・事務部)より推進委員を選出し、定例(月1回)の委員会を開催でき、①～⑩について意見交換を活発に行い改善する事ができた。インデックス調査では、参加率初回63%から93%へ、超過勤務時間10時間11分から4.7時間へ、離職率11.3%から4.3%へ、看護ケアに時間を費やせる9.6%から25.7%へ、気兼ねなく帰れる29.6%から52.3%へ、上司との関係良好は60%台を維持。以上の結果からも良い方向へ改善されていることが明確であり、声を掛け合いお互い様の風土が出来てきている。

4. 院長からひとこと

WLB推進委員会の3年間の取り組みにより、上記で述べた内容が改善され、少しずつではありますが働きやすい職場へ変化していると感じています。今後も取り組みを継続し、職員が生き活きと働き続けられる職場作りを共に目指して行きたいと考えます。

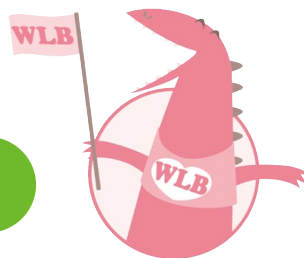
5. これから取り組まれる施設へメッセージ

WLBは子育て支援だと思われがちですが、実は、全ての職員を対象に取り組み、働きやすい職場作りを、病院全体で考え改善して行く事です。私達も3年間の取り組みで、様々な成果を挙げることが出来ました。その中でも1番は、他部署との連携が強まり、情報共有や意見交換ができるようになった事です。今後も推進委員会を継続して行い、より働きやすい職場にしたいと思えます。参加を考えている施設のみなさん、是非参加をお勧めします。



バランス (WLB) 推進事業

～3年間の取り組み～



参加施設

医療法人社団亮仁会 那須中央病院



1. 事業に取り組んだ動機

地域の皆様に支えられ、平成24年当院は開院30周年を迎えました。しかし、厳しい医療環境の中で今後さらに、「当院理念である「地域住民から愛され信頼される病院に」を実現するためにはどうすべきかを検討する機会を得たいと考えておりました時にこの事業を知りました。WLBの考え方に興味を持ち、看護職員インデックス調査を通じて看護職員の「思い」を知り、それをもとに病院の現状を理解し「職員に愛される病院」をめざし改善に取り組みたいと考え参加しました。

2. 主な取り組み内容

①WLB委員会の立ち上げ・委員会活動

WLB委員会を円滑に進めるための推進委員5名。WLB委員を法人全部署から1名(全25名)選出し毎月委員会を実施した。委員会で各部署の現状を知るためSWOT分析を実施し、改善案を検討し実施した。

具体的内容は、「看護職員確保」「有給休暇取得向上」「残業削減」「各部署の患者利用者満足度調査」の実施及び結果から改善策の実施等、現在もPDCAサイクルを継続している。

②就業規則の周知

・毎月WLB委員会で行うワンポイント就業規則講座の実施

③看護部キャリア支援体制の構築

eラーニングの導入、看護部独自の教育委員会設立、認定看護師研修を含め研修会参加規定の整備

④地域住民に向けた取り組み

地域医療交流会の実施(第1回「生まれる」上映会 第2回「いき・る支援」講演会)
地域医療・福祉読本の配布等

3. 取り組んだ結果(効果)や職員の意識変化

- ・WLB委員中心に部署を超えて話合うことが、それぞれの部署の理解を深めることになりお互い様意識が醸成されている。
- ・理事長・院長からも理解を得て、WLB委員会で検討されたことが事業計画等に反映されることもあり、職員のモチベーションの向上の一因となっている。
- ・3回のインデックス調査結果はほとんどの項目が改善方向となっている。

コツコツと改善に取り組むことで「働きやすい」と評価されることになり、当院理念である「地域住民から愛され信頼される病院に」の実現につなげて行けるのではないかと思う。

4. 院長からひとこと

今回の取り組みで患者様に質の高い医療、看護・介護を提供するためにも、WLBの必要性を知りました。今後もWLB実現に向け、看護職だけでなく全職員と共に取り組みたいと考えております。

5. これから取り組まれる施設へメッセージ

自施設の現状を職員全体で理解しそこから改善策を検討し実施評価することは、職員個人のモチベーションの向上になると実感しました。是非ご参加ください。



西方病院



1. 事業に取り組んだ動機

当院では、働きやすい職場環境の構築を目指し

- 10年後の医療の在り方の提示に伴い、全職員で当院の現状から課題を見出すための科学的データを得たい。
- 看護職員が考える現状からの看護の質の向上のための課題を見出す。
- 管理者とスタッフの考えのギャップを知る。
- 地域への貢献を共に考える機会としたい。

以上の4つを目標に、看護部、検査科、放射線科、リハビリ、医事課、総務課などからメンバーを選出し法人全体で参加しました。

2. 主な取り組み内容

- ・WLB委員会の月1回の開催
- ・インデックス調査結果「看護ケアに時間が取れないと感じている」について実態調査と、各部署で看護ケアに対する考え方などのカンファレンスを実施
- ・男子当直者の現状調査と一部業務の改善
- ・全職員への就業規則の周知のため、説明会の実施、産休や育児休暇のワンポイント冊子の作成、配布。法定休日の導入・ボランティア活動のための休暇・出張の取り扱いなど就業規則一部の変更
- ・院内託児所を外部業者委託のすこやか保育園へ、迎え時間の延長と休日、夜勤明けの預かり実施
- ・地域住民との交流として「栃木市の防災訓練」に2年間参加
- ・法人全体での有給休暇50%取得を目標に、法人の責任者会議で上層部より明言
- ・病院・老人保健施設・健診センターなど法人全体20部署でのWLB推進活動を開始

3. 取り組んだ結果(効果)や職員の意識変化

取り組み成果として、看護ケアに対する意識が変化したこと、法人全体の有休取得率UPなど様々な成果が見られた。一番大きな成果として活動メンバーから「今までおかしいと思っていても何もしてこなかった。しかし、自分たちで部署を変えていける。課題として自分たちが取り組んでいける」などの意見が出たことであり、意識の改革となった。現在はそれぞれの部署が自ら問題意識を持ち、自部署の課題を改善していくために「WLB推進活動」を実施している。また、看護部においてもそれぞれが自部署の弱み・強みを分析・課題に取り組みすることが今後の看護の質の向上につながっていくと考えている。

4. 理事長からひとこと

一人一人が問題意識を持ち、法人全体の取り組みとして考え、行動できるようになってきたことに期待し、職員の今後を見守りたい。

5. これから取り組まれる施設へメッセージ

活動を開始することで、必ず院内に変化が起きます。諦めないこと継続が力です。職員全員で動くということを意識して、組織的に活動していきましょう。三年後には変化が実感でき職員が前向きになれる病院風土が生まれます。





公益社団法人栃木県看護協会の訪問看護ステーションの組織及び所在地が一部変更になりました。

平成26年12月1日、とちぎ訪問看護ステーションくろばね須賀川支所を開設しました。本地域は高齢化率が高く無医地区であるため、住民の期待も高まっています。

また、4月1日には、とちぎ訪問看護ステーション「たかねざわ」と「いちかい」が合併し、更に質の高いサービスが提供できる機能強化型ステーションを目指しております。今後とも利用者や家族の意思を尊重しながら在宅療養をより豊かに継続できるように努めていきます。

事業所一覧

事業所名	住 所	TEL / FAX
とちぎ訪問看護ステーションうつのみや ----- 居宅介護支援事業所うつのみや	〒320-0852 宇都宮市下砥上町643番地1	TEL : 028-612-6103 FAX : 028-612-6104
とちぎ訪問看護ステーションいまいち	〒321-1272 日光市今市本町25-3	TEL : 0288-21-5515 FAX : 0288-21-5011
とちぎ訪問看護ステーションみぶ ----- 居宅介護支援事業所みぶ	〒321-0218 下都賀郡壬生町落合1丁目18番地12	TEL : 0282-82-7262 FAX : 0282-82-7260
とちぎ訪問看護ステーションくろばね ----- とちぎ訪問看護ステーションくろばね 須賀川支所 ----- 居宅介護支援事業所くろばね	〒324-0241 大田原市黒羽向町142番地 〒324-0211 大田原市須賀川1786番地1 須賀川高齢者ほほえみセンター内 〒324-0241 大田原市黒羽向町142番地	TEL : 0287-54-0507 FAX : 0287-54-0580
とちぎ訪問看護ステーションおやま ----- 居宅介護支援事業所おやま	〒323-0827 小山市神鳥谷2249番1 健康医療介護支援センター内	TEL : 0285-39-8602 FAX : 0285-39-8607
とちぎ訪問看護ステーションたかねざわ ----- とちぎ訪問看護ステーションたかねざわ 市貝支所 ----- 居宅介護支援事業所たかねざわ	〒329-1233 塩谷郡高根沢町宝積寺2426-8 パークタウン高根沢105 〒321-3423 芳賀郡市貝町市塙1720-1 市貝町保健福祉センター内 〒329-1233 塩谷郡高根沢町宝積寺2426-8 パークタウン高根沢105	TEL : 028-680-1701 FAX : 028-680-1702 TEL : 0285-67-1150 FAX : 0285-67-1151 TEL : 028-680-1701 FAX : 028-680-1702
とちぎ訪問看護ステーションあしかが ----- 居宅介護支援事業所あしかが	〒326-0056 足利市大町532番地18	TEL : 0284-44-4011 FAX : 0284-44-4012



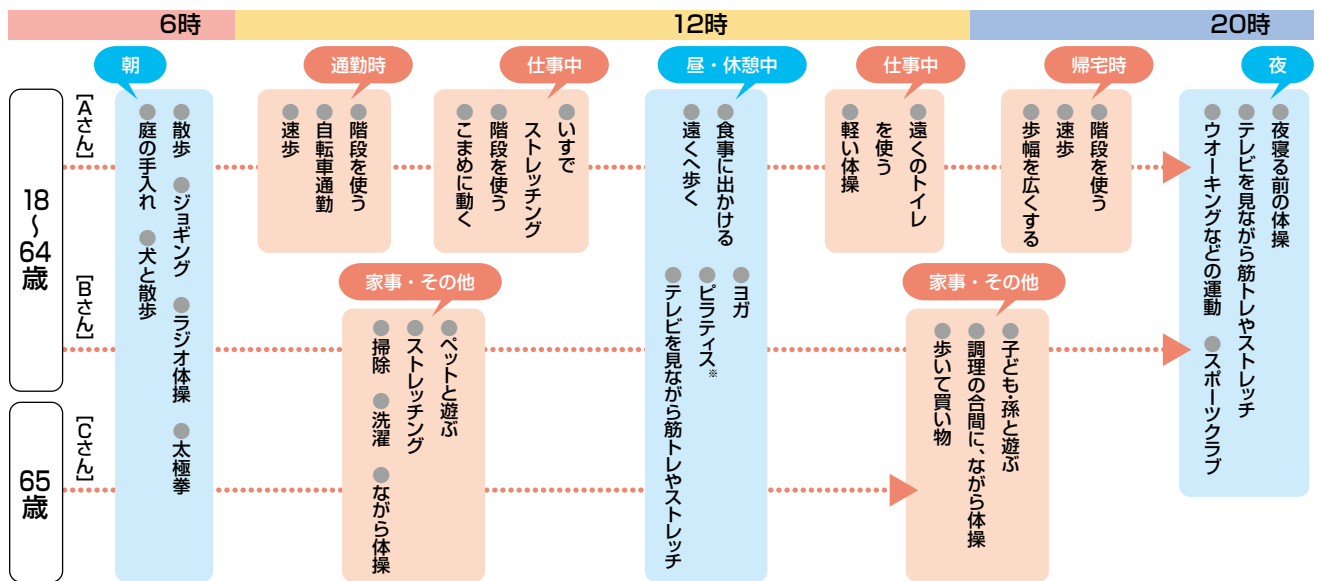
いつでもどこでも からだを動かす^{プラス・テン}+10



「身体活動基準2013」では、からだを動かすことを今よりも1日10分増やすことを勧めています。それが、今より1日10分多くからだを動かす^{プラス・テン}+10です。自分の生活を振り返って、いつ、どこで、+10するか、見つけてみませんか。

あなたが^{プラス・テン}+10するのはどこですか？

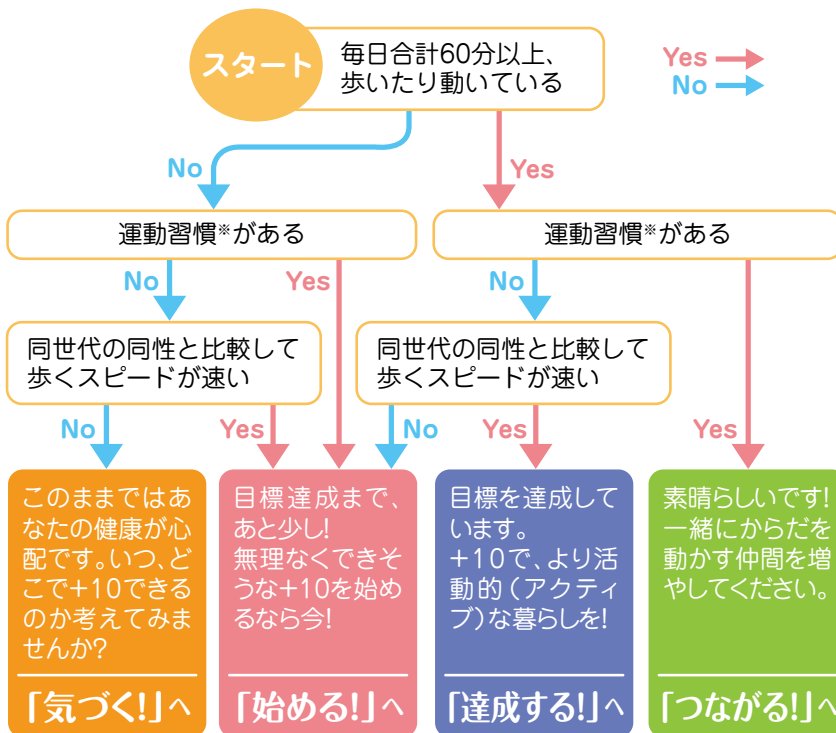
下の働き盛りのAさん、子育て中のBさん、退職したCさんの1日を参考に、あなたの1日のスケジュールや活動を振り返って+10できそうなところをチェックしてみましょう。



*ピラティス…腹式呼吸を用いたストレッチを中心とした運動。

出典：厚生労働省「アクティブガイド」を一部改変

健康のための身体活動量チェック あなたの身体活動量は大丈夫？



「気づく！」

自分の生活や行動を見直してみましょう。からだを動かす機会や環境が意外に身の回りにたくさんあることに気づきませんか。

「始める！」

家事や通勤の時間、余暇時間など、どこでからだを動かせるのかに気づいたら、あとは実践あるのみ。歩くときは少し速く歩くなど、できることから始めましょう。

「達成する！」

からだを動かす目標(基準)は、1日60分約8,000歩です。高齢者はじっとしている時間を減らし、軽くてもいいので1日40分からだを動かしましょう。

「つながる！」

家族や仲間など一人でも多くの人と、からだを動かす楽しさや快適さ、健康さを共有すると、励みや充実感につながります。

*1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上続けて行っている。
出典：厚生労働省「アクティブガイド」を一部改変



栃木県看護大会『看護の日』記念行事

2015.5.9(土)

会場：栃木県総合文化センター メインホール
時間：10:00~15:00 **入場無料**

※ 記念講演 (13:30~15:00)

テーマ：「**生きることの意味**」
～あなたの役割はなんですか～



お名前 大住 力 (公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を代表 / コリキ教育研究所 所長)

東京ディズニーランドを運営するオリエンタルランドに入社し、約20年間、人材教育、東京ディズニーシーなどのプロジェクトの立ち上げや運営、マネジメントに携わる。
現在は、公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を、2010年3月に設立し、代表を務める。講演等では、教育現場から、病院、企業の人材育成研修、研修所の受入者矯正教育など幅広く活動。専門はホスピタリティのほか、コミュニケーション、モチベーション、理念浸透など。
著書：「ディズニーの最強マニュアル(かんき出版)」ほか

- ★ 栃木県看護大会式典 (10:00~11:20)
- ★ ふれあい看護体験発表 (11:35~12:00)
- ★ 「チャリーディングステージ」 (13:00~13:20)
チャリーディングチーム ANGELS
- ★ まちの保健室 (10:00~13:00)
* 健康相談、血圧・体脂肪・骨密度測定
* 助産師の仕事紹介・タッチケア
* 高齢者疑似体験、AED体験
* 災害支援ナース活動の紹介
* WLB (ワーク・ライフ・バランス) 活動の紹介
* 訪問看護と介護保険相談
* 臓器移植のPR
- ★ 進路・就職相談室 (10:00~13:00)
～育てよう看護のこころ～
* 看護師・保健師・助産師になるためには
* 仕事のこと、気になるあれこれ
(現役看護職が対応します。)
- ★ お子様白衣モデル体験
～未来のナースの写真をどうぞ～
(10:00~13:00)
- ★ 「看護」の魅力～看護っていいね!～
(10:00~13:00)



ふれあい看護体験2015

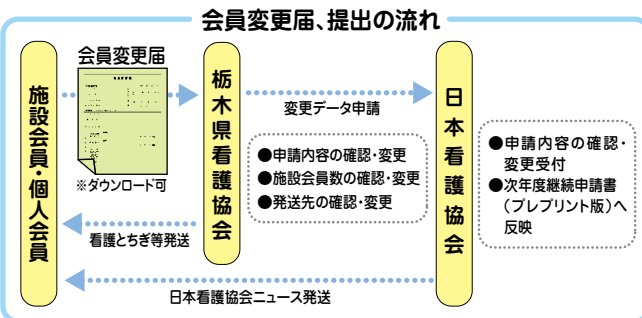
県内49病院等にて実施予定 ※詳細は栃木県看護協会にお問い合わせください。

主催：栃木県 公益社団法人栃木県看護協会 一般社団法人日本精神科看護協会栃木県支部 一般社団法人栃木県助産師会
お問い合わせ先：公益社団法人栃木県看護協会 ☎028-625-6141

会員登録のお知らせ

登録施設に変更がある方は手続きください

異動で施設が変わった方、職場を退職した場合も手続きが必要です



【会員変更届提出の注意事項について】

- ① 会員変更届は**ご本人**が提出してください。
 - ② 会員変更届はFAXまたは郵送で送付ください。
 - ③ 電話による変更手続きはできません。
- ※ 会員変更届は、栃木県看護協会ホームページよりダウンロードができますのでご利用ください。

▶ <http://www.t-kango.or.jp>

ご不明な点はお電話でご相談下さい

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1
とちぎ健康の森 4階
TEL 028-625-6141
FAX 028-625-8988
公益社団法人栃木県看護協会 会員登録担当

第19回栃木看護学会学術集会

- メインテーマ** 学生も現場も生き生きと
—後輩育成の視点から臨地実習を考える—
- 期日** 平成27年11月5日(木) 1日間
- 会場** 栃木県総合文化センター

演題募集 5月1日~5月15日

※より参加しやすい学会を目指して
今回から会場と開催日数が変更になりました
皆様のご参加をお待ちしています!

集会長 獨協医科大学看護学部
教授 山口久美子

シンポジウムテーマ
学びあい教えあい共に育つ臨地実習

平成26年度物故者氏名

- 寺沼 幸子様 平成26年7月2日 (88歳)
公益社団法人日本看護協会・公益社団法人 栃木県看護協会 名誉会員
- 田井 純子様 平成26年11月14日 (36歳)
所属 医療法人英静会 森病院
- 土屋 幸子様 平成26年11月15日 (49歳)
所属 県東健康福祉センター
- 中嶋 珠実様 平成27年1月14日 (68歳)
公益社団法人 栃木県看護協会 認定看護管理者研修専任教員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

背中をポンポン

「お母さん、しんどい。夕食後、息子がからみつきを起こした。病院に着いてから5分も経たず、息子は意識を失った。入院することになった。」

「看護、息子の命は救っていた。目を覚めても、声を聞けても、言葉を聞けても、泣き止まらなかった。抱っこを続けても、泣き止まらなかった。抱っこを続けても、泣き止まらなかった。抱っこを続けても、泣き止まらなかった。」

「あれから32年、完全に記憶を断絶して通っていた。振り返れば、ポンポンを何度も。今までの看護師の背中を叩きながら、生きてきたように思う。」

「あなたが、ありがとう、看護師さん。」

看護週間 5月10日(日)~16日(土) **今年で25周年!**

看護の心を、みんなの心に

主催：厚生労働省/日本看護協会
後援：文部科学省/日本医師会/日本歯科医師会/日本薬剤師会/全国社会福祉協議会
協賛：日本看護協会/全国看護協会/日本看護協会/日本看護協会/日本看護協会/全国看護協会
協賛：日本看護協会/日本看護協会/日本看護協会/日本看護協会/日本看護協会/全国看護協会
協賛：日本看護協会/日本看護協会/日本看護協会/日本看護協会/日本看護協会/全国看護協会

5月12日は看護の日

www.nurse.or.jp 看護の日 検索